

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

平成28年2月25日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域協働推進事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
みやき町地域公共交通 確保維持改善協議会	<p>・コミバス応援隊〈住民サポーター〉による利用促進 コミュニティバスの利用方法等について理解・関心をもってもらうため、町内の商業施設を巡る体験試乗会を実施した。</p> <p>・公共交通マップ〈携帯可能なポケットサイズ版〉の作成 持ち運びしやすく使いやすい利用促進のための時刻表(ルート図・ダイヤ)として、A6サイズの大きさに、バスの利用例を記載したり、各自が自分の乗車するバスをメモすることができる「マイ時刻表」のスペースを用意したりするなど、利用促進につながる時刻表を分かりやすく使いやすいものに工夫して作成した。</p>	A	<p>公共交通マップを利用し、老人クラブ、いきいき女性クラブ等に情報提供を行い、交通弱者の利用促進を図る。 一方現在利用されている方々の意見を聴取し、利便性の向上を図る。</p>	<p>・時刻表やマップの作成は利用促進の一手段に過ぎず、利用する住民の手元まで確実に届ける方策を併せて検討することが必要である。</p> <p>・また、手元に届いた後に使用されているか追跡調査をすることも必要である。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
基山町地域公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・町、観光協会、商工会主催イベントでの情報提供 ・バス乗り方会 ・企業等への協賛呼びかけ 	A	計画通り事業は適切に実施された。 (イベント時にPR活動(1回)を行うことで、潜在的な利用者に対し情報提供を行い、新たな利用者層を獲得することができた。また、バス乗り方会、地域お話し会(計14回)を実施し、平均利用者数を15%増加することができた。)	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な広報活動を展開するとともに、その効果をアンケートや住民ヒアリングにより情報収集することが必要。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・他主要幹線(甘木鉄道・高速基山PA)との連携活動の促進 ・JR駅(けやき台駅、基山駅)、高速バス(高速基山PA)等コミュニティバスとのネットワーク化 	A	計画通り事業は適切に実施された。 (結節点をもつ他モードの公共交通との連携イベント等(2回)を行うことで、普段バスは列車と触れ合うことの少ない年代に公共交通を身近に感じてもらうことができた。)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通を網羅したバスマップ作成(アプリ) 	C	事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。 (一部路線では高齢者が大半を占めるため、実際の利用者が求めている情報提供の方法であるか、携帯アプリによる情報提供が本町バスにおいて有効な情報提供の手段であるか、調査が必要であると判断したため。)		<ul style="list-style-type: none"> ・バスマップ作成については地域が必要としている情報を網羅することが肝要である。
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する情報などを発信するスマートフォンアプリケーションの検討 ・啓発資料の作成(公共交通利用促進ガイドブック) ・路線バスに関するモビリティマネジメントの実施 ・公共交通ニューズレターの発行 	A	地域ぐるみで地域公共交通をPRしたり、「公共交通をみんなで支える」意識の醸成を図る取り組みを継続して実施していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表やマップの作成は利用促進の一手段に過ぎず、利用する住民の手元まで確実に届ける方策を併せて検討することが必要。 ・また、手元に届いた後に使用されているか追跡調査をすることも必要 	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
玉名市地域公共交通会議	<p>公共交通を網羅したマップ、時刻表の更新、配布 【玉名市・産交バス】 ・平成26年度に作成した地域公共交通を網羅したマップ、時刻表を更新し、配布した(28,000部)。 (主な配布先) ・市内全世帯及び転入者 ・公共施設、教育施設、観光施設、医療施設、商業施設 ・金融機関、学習塾、主な団体、交通事業者</p> <p>なお、マップに掲載している乗合タクシーの情報については、持ち運びできるサイズのニーズが高いことから別途、ポケットサイズの時刻表を作成し、タクシー車内等に配備した。</p>	A	時刻表は、毎年、各交通事業者のダイヤ改正に応じて修正する必要があり、企業等の協賛についても検討し、継続して発行するための財源を確保する必要がある。	<p>・時刻表やマップの作成は利用促進の手段に過ぎず、手元に届いた後に使用されているか追跡調査をすることも必要である。 さらに、調査結果を分析し、利用しやすい公共交通網の構築や使いやすいマップの作製につなげていくことが肝要である。</p>	
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	<p>平成27年10月1日より新規運行を開始した朝地町区域において、2路線を用いて利用促進と乗り方教室等を「大人の社会見学」と題して、大分大学生、地元の唯一の高校である三重総合高等学校の生徒と協働で事業を推進した。 綿田線：12名、小川野・志屋線：13名 計25名参加 結節点(石田団地)にて朝地・市民病院線に乗り換え</p>	A	<p>これまでコミュニティバスに縁がなかった地域でもあり、初めて乗車したという参加者もあり、利用促進につながった。 今後は、地域間幹線と支線との乗換も含め、さらに利用促進を図る必要がある。 また、地元の高校生と協働で実施したことも大きな意義があり、今後につながる事業となった。</p>	<p>・丁寧な広報活動を展開するとともに、その効果をアンケートや住民ヒアリングにより情報収集することが必要。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	<p>●地域公共交通に関する情報提供の実施 日出町ホームページの公共交通に関するページをリニューアルし、各種情報提供の充実を図った。また、広報紙等も活用し、情報発信に努めた。</p> <p>●ニーズ調査及び運行計画の改善、要望活動の実施 平成27年3月に実施した要望調査及びその結果に基づき、平成27年6月の改善計画に反映して新たな計画を策定した。また、民間事業者に対する要望活動も実施した。なお、平成28年3月にも実施予定。</p> <p>●公共交通マップの作成・配布 平成27年9月に交通マップが完成し、町内の全戸に配布を行った。また、転入者にも配布している。</p> <p>●総合時刻表の作成・配布 平成28年3月の完成・配布を予定しており、現在作成中の段階。</p> <p>●要望に対する利便性向上策の検討・実施 住民の要望に基づいて運行ルートの変更を実施した。合わせて、停留所の新設も行った。</p>	A	<p>●今後も継続して、利用者への情報発信に努める。</p> <p>●平成27年3月の調査では、アンケート回答数が少なかった為、実利用者を中心に幅広い意見の集約ができるよう関係機関と連携して実施していきたい。</p> <p>●大幅な路線の変更等が生じた場合は、再度作成・配布を行うことを検討する。</p>	<p>・ホームページについて、利用者が求めている情報を精査し、見やすい構成とすることが重要である。</p> <p>・時刻表やマップの作成は利用促進の一手段に過ぎず、利用する住民の手元まで確実に届ける方策を併せて検討することが必要である。</p> <p>・また、手元に届いた後に使用されているか追跡調査をすることも必要である。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
高鍋町地域公共交通会議	◇バスマップ・ホームページの作製 JR九州、宮崎交通(株)、町内タクシー会社3社と協働で、町内の公共交通の情報を総合的に掲載した「高鍋町公共交通マップ」を作成し、町内全戸に配布するとともに各施設に設置を行った。また、町外の方も見るできるように、町のホームページに掲載した。	A	ダイヤ改正や路線の変更等の可能性もあるため、今後は定期的に内容の見直しを行うとともに、更なる内容の充実に向けて検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 時刻表やマップの作成は利用促進の一手段に過ぎず、利用する住民の手元まで確実に届ける方策を併せて検討することが必要である。 また、手元に届いた後に使用されているか追跡調査をすることも必要である。 	
	◇町内巡回バスネーミングの周知 ネーミングの決定について広報紙で紹介し、町内巡回バスについて広報をするときは、ネーミングを積極的に使用した。 バス車両に貼付するマグネットシートを2パターン作成し、車両の前後左右に貼付した。 また、マグネットシートのデザインを利用し、バス停の表示も変更した。	A	今後も広報紙やホームページを活用して周知を強化し、バスの利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> バス及び停留所のデザインを分かりやすくすることは、利用者にとって重要な情報なので、的確に周知し、利用促進につなげることが必要である。 	
	◇バスの乗り方教室の開催 宮崎交通と(株)と協働で、6月に高鍋西小学校の4年生を対象にバスの乗り方教室を行った。高鍋東小学校は6年生を対象に1月に行う予定。 また、住民(希望者)を対象にしたバスの乗り方教室を3月に行う予定。	A	次年度も同程度の回数で乗り方教室を開催する予定。 実施後のアンケート調査の結果をもとに、内容の改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な広報活動を展開するとともに、その効果をアンケートや住民ヒアリングにより情報収集することが必要。 	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
都城市地域公共交通会議	<p>総合時刻表(及び統一バスマップ)の作成【市民、宮崎交通、高崎観光バス、三州自動車、都城市】</p> <p>・バス情報のわかりやすさ向上のため、路線バス・コミュニティバス等の情報を総合した時刻表・バスマップを3月までに作成する見込み。</p> <p>・ワークショップ形式で市民の意見を取り入れる予定であったが、意見の取り入れ方について変更する可能性あり。</p>	B	<p>・総合時刻表(及び統一バスマップ)が親しまれるためには、「常に新しい情報が掲載されている」ことが重要である。ダイヤ変更や路線変更に対応できる(簡単に編集作業ができる)フォーマットを基本とした時刻表・マップ作成を目指していたが、従来のタイプとなる見込みであるため、今後の改善が求められる。</p>	<p>・時刻表やマップの作成は利用促進の一手段に過ぎず、利用する住民の手元まで確実に届ける方策を併せて検討することが必要である。</p> <p>・また、手元に届いた後に使用されているか追跡調査をすることも必要である。</p>	
	<p>バスへの親しみの向上に向けた取り組み【市民、都城市】</p> <p>・10月に開催されたイベント「環境まつり」において、バスの乗り方教室を実施。実施スペースがまつり会場入り口付近であることや、対象がほぼ小学生であること、また、人の流れを考慮し、「まずはバスの中に入って興味を持ってもらい、バスの中で随時、乗り方を勉強する”スタイルをとった。</p> <p>・3月に開催されるイベント「ボランティアフェスタ」において、バスの乗り方教室を実施予定。</p>	B	<p>・イベントでの開催だけでなく、各学校や各高齢者施設等を対象としたバスの乗り方教室の開催など、さまざまな対象を検討していくべきである。</p>	<p>・丁寧な広報活動を展開するとともに、その効果をアンケートや住民ヒアリングにより情報収集することが必要。</p>	
	<p>路線バスと高速バスの接続強化に向けた取り組み【宮崎交通】</p> <p>・市内路線バスと高速バスの乗り継ぎ利用のしやすさをPRする時刻表入りの新聞折込チラシを3月に作成予定。</p>	A	<p>・高速バスと接続する他事業者、高速バスと接続するコミュニティバスについても、PRを図ることが求められる。</p>		